

みんなとともに笑顔いっぱい



みんなとともに



「校長先生、虹がストーカーをしています。」何のことかと思ったら、朝、吾妻山の方向にきれいな虹が出ていて、その虹が信夫橋の辺りから学校までずっとついてきているのだそうです。その今風の表現に「現代っ子だなあ」と思うとともに、「物騒な言葉を子どもが使わなくてもよい社会はできないものかなあ」と思いました。そんな理想社会の担い手に子どもたちを育てていきたいです。



本校の「人的・物的資源の活用」について

11月21日(水)、福島大学大学院生「モデル校学校訪問」で大学院生9名と先生2名が来校しました。その際、古山武彦教務主任が、本校の教育課程について説明をしましたが、その資料がとても分かりやすくまとめられていました。今回は、その資料から引用します。改めて多くの方のお世話になっているなあと思えました。

◇ 人的・物的資源の活用

(1) 人的資源の活用の例 (各種団体・地域・保護者の連続)

- 「歯みがき教室」学校歯科医(4年) / 「国際交流」マリールイズさん(1年 4年)
- 「生け花教室」JA(6年) / 「ごみ出前授業」市清掃局(4年) / 「獣医師研授業」(獣医師) 4年
- 「水道出前授業」市水道局(4年) / 「福祉体験」地域福祉コーディネーター(5年)
- 「稲刈り教室」絆糸組(6年) / 「町たんけん」地域の方々(2年)
- 学生ボランティアによる授業支援 / 体育専門アドバイザーによる授業支援
- 県体育協会による陸上出前授業

(2) 物的資源の活用の例 (社会・文化施設の活用)

- 「宮畑遺跡見学」(6年 社会) / 「すりかみ川ダム見学」(4年 社会)
- 「環境創造センター学習」(5年 総合) / 「御倉邸見学」(6年 総合)
- 「こむこむ館学習」(4年 社会 理科) (2年 生活)

※ 各種事業の活用の例

- 「フォレストパークあだたらでの森林学習」福島県森林環境学習推進事業(全学年)
- 「語ってみよう！義太夫節！」文化芸術による子供の育成事業(全学年)
- 「防災フィールドワーク」ふくしま・ふれあい・夢プラン事業(全学年)
- 「視覚支援学校の友達(3年) 養護学校の友達(5年) との交流」児童・生徒のボランティア活動普及事業



2年生活科の「町たんけん発表会」に佐藤鐵夫様をお招きしました。

今週も、「人的資源」を活用した教育活動がありました

○ 5年「福祉体験(車椅子)」市社会福祉協議会
～ バリアフリーって大切だなあ～



○ 1年・3年「食の授業」遠藤幸子栄養教諭
～ 考えて食べることが大切だなあ～



その道の専門家の話は、とっても勉強になります。教師だけが「先生」なのではなく、学校に関わってくださるすべての方が子どもたちにとっての「先生」です。多くの方に快くお出でいただいていることに感謝いたします。